



エンジニア・学習者必見！

技術トレンドのキャッチアップ方法 & ブクマ必須サイト20選

QiitaとZennを活用し、最新技術情報を効率的に収集してエンジニアとして成長しましょう。

Qiitaの魅力

Qiitaは、新技術情報を日々エンジニアが共有する参加型プラットフォームです。最新の技術情報へのアクセスが簡単にできるため、トレンド把握に最適です。

<https://qiita.com/>

Zennの特長

ZennもQiitaと同様のメディアですが、ブック機能などより体系的な情報がまとまっていることが多いメディアです。

<https://zenn.dev/>

メルマガで効率的 情報収集

ポイントはメルマガに登録しておくこと。定期的に注目度の高い記事を厳選して配信してくれるので効率よくキャッチアップできます。

毎年1度大規模な調査を発表するのが下記メディアです。
発表時期と合わせてチェックするとよいでしょう。



GitHub Octoverse

発表時期：毎年10月

<https://octoverse.github.com>



State Of Frontend

発表時期：毎年10月

<https://tsh.io/state-of-frontend>



Stackoverflow Survey

発表時期：毎年6月

<https://survey.stackoverflow.co>



レバテックIT業界全体人材白書

発表時期：毎年1月

<https://levtech.co.jp/research>

イベント参加で最新技術を学びつつ、 重要なネットワークを形成する好機を活かしましょう。

01

最新技術の学び

業界イベントに参加することで、技術トレンドの変化や成功事例を直接知る機会を提供します。また、講演やワークショップで専門家から最新の知識を吸収できます。

connpass: <https://connpass.com>

02

人脈の拡大

イベントは業界のキーパーソンと直接交流するチャンスを提供し、潜在的な協力者につながる場です。この関係は将来のプロジェクト成功の鍵となり得ます。

Peatix: <https://peatix.com>

Xでメディアをフォローし、 一元的に最新記事の情報を効率よくキャッチする方法を学びましょう。

テックメディアをフォロー

ITmediaや日経クロステックなどのテックメディアをXでフォローすれば、新規投稿を見逃さずに効率良くチェックできます。

Xで情報を一元管理

多くのメディアが新規記事をXでシェアしているので、Xアカウントだけで情報を一元的に管理し、迅速にアクセス可能です。

ビジネス・IT業界・技術・まじめ

ITmedia

<https://www.itmedia.co.jp/>

日経クロステック

<https://xtech.nikkei.com/>

**Business Insider
Tech**

<https://www.businessinsider.jp/techinsider>

WSJ TECH

<https://jp.wsj.com/news/types/j-tech>

海外・有名企業

GitHub

<https://github.blog>

OpenAI

<https://openai.com/news>

Vercel

<https://vercel.com/blog>

Docker

<https://www.docker.com/ja-jp/blog>

国内・有名企業

DeNA

<https://engineering.dena.com/blog>

LINEヤフー

<https://techblog.lycorp.co.jp/ja>

SanSan

<https://buildersbox.corp-sansan.com>

サイバーエージェント

<https://developers.cyberagent.co.jp/blog>